



月島ホールディングス株式会社

証券コード：6332

株主通信

第164期 中間のご報告

2025年4月1日から2025年9月30日まで

CONTENTS

ごあいさつ	1
事業概要	2
業績ハイライト	4
トピックス	5
株式の状況および株主優待制度	8
連結財務諸表(要約)	9
会社情報	10

環境技術で世界に貢献し未来を創る



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第164期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

当社グループは、お陰様で今年8月に創業120周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、日頃よりご支援を賜っております株主様ほかステークホルダーの皆様のお力添えの賜物と、心より感謝申し上げます。

近年、私たちを取り巻く事業環境が激しく変化するなか、水環境事業においては上下水道インフラの老朽化に伴い設備更新のニーズは高まっており、JFEエンジニアリング(株)との事業統合効果も相まって、受注残高および売上高は着実に増加しております。産業事業においても、環境関連分野を中心に引合は堅調に推移しており、当社グループの技術力、提案力に対する市場の期待を実感しております。

当社グループは、これからも「環境技術で世界に貢献し未来を創る」というパーパスのもと、時代の変化や社会のニーズに合わせた技術を提供することで、世界的な社会課題である環境問題の解決に取り組み全ての人々が健康で豊かな生活を享受できる社会を目指して事業活動に取り組んでまいります。

株主の皆様からの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年 12月

代表取締役社長 川崎 淳

事業概要

当社グループを取り巻く市場環境は、米国の関税政策やロシアによるウクライナ侵攻、中東情勢緊迫の長期化などの地政学的リスクの影響により先行きが不透明な状況が続いております。国内では、企業の設備投資活動が堅調に推移しているものの、物価上昇や為替の変動などが経済活動に与える影響について留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、持続的な成長を目指すために「サステナビリティ経営の推進」、「事業領域の拡充とグループ収益力の強化」、「資本効率の向上と株主還元の拡充」を基本方針とした中期経営計画（2023年4月～2027年3月）を推進することで、企業価値の向上に取り組んでまいります。

業績について、売上高は豊富な受注残高が進捗し増収となり、営業利益は増収効果などにより増益となりました。当期純利益は、物流施設や政策保有株式の売却により大幅に増益となりました。これらの貢献により、売上高および各利益計数は、第二四半期として過去最高となりました。

中期経営計画の進捗状況は、以下の通りです。

●「サステナビリティ経営の推進」

当社グループの温室効果ガス排出量の削減のため、R&Dセンターにおいて太陽光発電設備を導入しました。これにより同センターの年間消費電力の約3割を再生可能エネルギーで賄う計画です。

●「事業領域の拡充とグループ収益力の強化」

水環境事業では、JFEエンジニアリング(株)との事業統合により、製品ラインナップが拡充され提案力も強化されたことで業容が拡大しております。産業事業では、高速攪拌機メーカーのプライミクス(株)の東京支社におけるテスト機能をR&Dセンターに移設することで、技術検証の効率化とグループ内での顧客基盤の連携・拡大を図っています。

●「資本効率と株主還元の拡充」

総資産回転率の向上を図るため、市川工場跡地を活用した不動産（物流施設）の当社持分を譲渡いたしました。また、政策保有株式の売却も進めております。これらの売却資金は、成長投資と株主還元に分けてまいります。株主還元方針は見直しを行い、新たに株主資本配当率（DOE）を採用して「安定配当の水準は、DOE3.5%を下限とし、総還元性向50%以上」としてまいります。

今後も、中期経営計画を着実に実行することで、より一層の企業価値の向上と持続的成長を目指してまいります。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

事業概要

当社グループの事業概要とセグメント情報です。持株会社である「月島ホールディングス(株)」はグループ全体の経営管理や戦略の策定、株主との対話に加え、総務、人事、財務、法務などの管理部門が事業会社のサポートを行うことで、ガバナンスの充実を図っています。水環境事業は「月島JFEアクアソリューション(株)」 「月島ジェイテクノメンテサービス(株)」、産業事業は「月島機械(株)」 「月島環境エンジニアリング(株)」 「プライミクス(株)」 「三進工業(株)」などで構成されております。その他事業においては、売上の大半を占めていた物流施設を2025年9月に三井不動産(株)へ譲渡しました。

今後も事業会社の特性に対応した体制を構築し、意思決定のスピードを上げることで市場環境の変化に対応し競争力を高めてまいります。

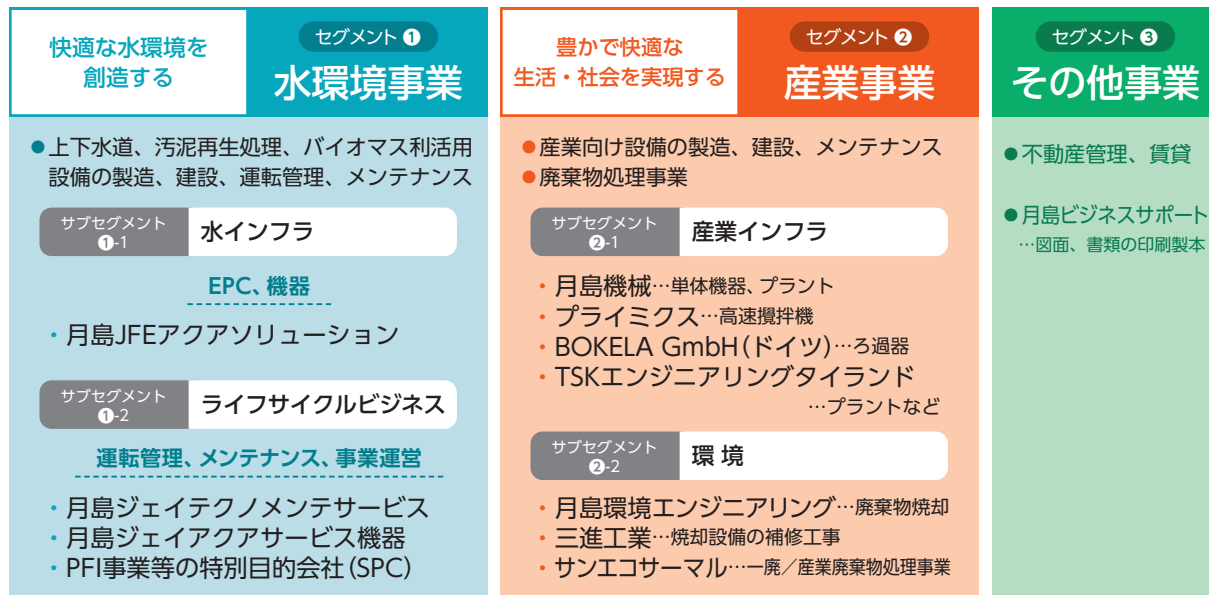


月島ホールディングス株式会社

グループ経営管理、
戦略の策定

ガバナンスの総括

事業会社のサポート



月島ホールディングス(株)グループの体制図

業績ハイライト

水環境事業

357億42百万円
63.1%

(25億15百万円の増収)

全社売上高

566億39百万円
(33億70百万円の増収)

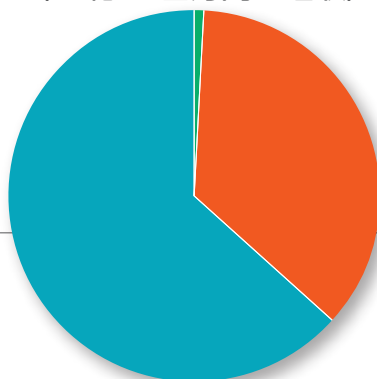
その他事業

5億74百万円
1.0%
(87百万円の減収)

産業事業

203億23百万円
35.9%

(9億43百万円の増収)

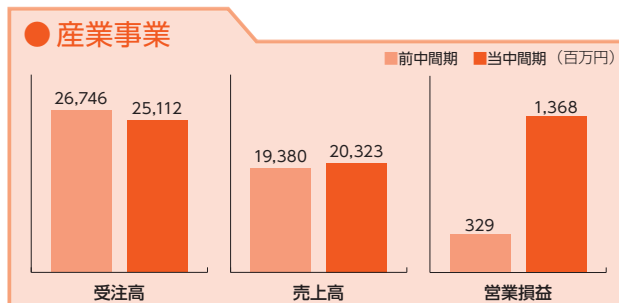
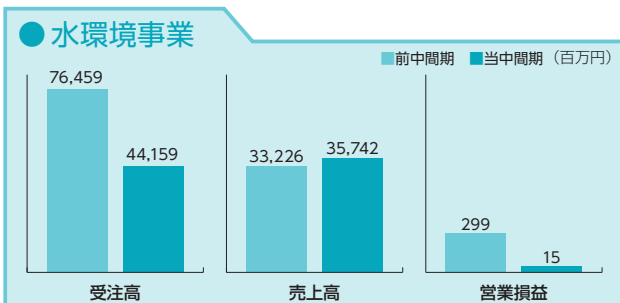


営業利益 16億47百万円 (前年同期比5億41百万円の増益)

経常利益 23億97百万円 (前年同期比4億68百万円の増益)

親会社株主に帰属する
中間純利益 117億83百万円 (前年同期比107億65百万円の増益)
(固定資産売却益を特別利益として計上したため)

■当中間期におけるセグメント別受注高・売上高・営業損益



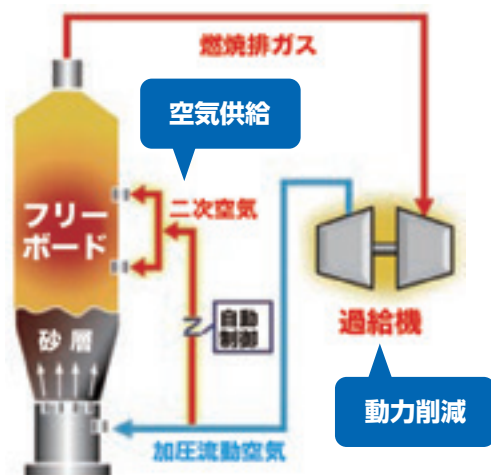
■ 水環境事業 事業統合シナジーによる下水汚泥焼却炉の開発

下水汚泥の焼却時には、CO₂の約300倍の温室効果があるN₂O（一酸化二窒素）が発生することから、温室効果ガス削減のためにはN₂Oの削減が重要なポイントとなります。

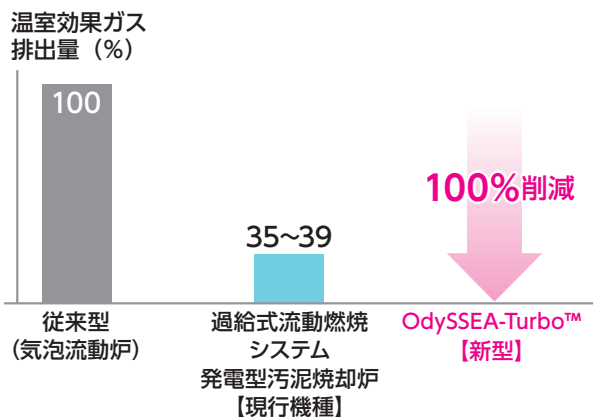
JFEエンジニアリング(株)の国内水エンジニアリング事業との事業統合により発足した月島JFEアクアソリューション(株)では、事業統合シナジーとして、両社が保有する焼却技術の長所を組み合わせた新しい低N₂O型創エネルギー流動焼却炉OdySSEA-Turbo™を開発しました。本焼却炉は、温室効果ガスの排出量を従来技術と比較して100%削減することが可能で、大幅な環境負荷低減を実現します。

今後は、現状の主力製品である過給式流動燃焼システム、発電型汚泥焼却炉に加えて、OdySSEA-Turbo™を展開していくことで、さらなる脱炭素社会の実現に貢献します。

創エネルギー焼却炉の概要



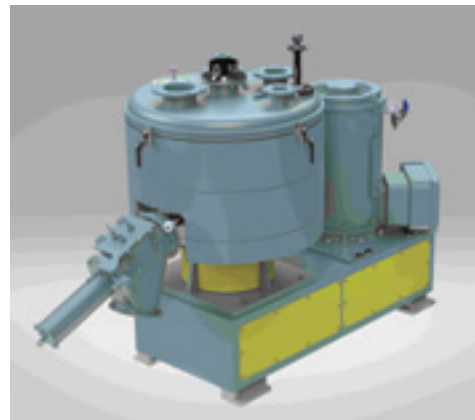
温室効果ガス削減効果



※試算条件 脱水汚泥量 (混合生汚泥) : 150t、含水率 : 74%

■ 産業事業 各分野における拡販強化

産業機械、プラントを展開している月島機械(株)は、2025年9月にドイツのZeppelin Systems GmbHと戦略的
事業提携を締結しました。今回の提携により、Zeppelin Systemsの最新技術を活用したミキサー製品が取扱可能
となります。電池材料、食品、薬品、化学品などの産業用
ミキサー市場において、これまで月島機械(株)が取り扱って
きたミキサー技術と、Zeppelin Systemsのミキサー技術
を最大限に活用し、世界トップレベルのミキシングソリュー
ーションを提供することで、進化する顧客ニーズに的確に
応えていきます。



Zeppelin Systems ミキサー

環境関連機器を展開する月島環境エンジニアリング(株)
は、アンモニア廃水処理技術で豊富な実績を有しておりま
す。近年国内外で設備投資が活発化している半導体分野に
おいて、半導体製造時に発生するアンモニア廃水を処理す
るニーズが高まっていることから、廃水処理設備に関する
引合に積極的に対応し、顧客ニーズに応えながら環境負荷
低減に対応していきます。



アンモニア処理装置

■ 成長戦略 (M&A)

月島JFEアクアソリューション(株)のグループ会社である月島ジェイテクノメンテサービス(株)は、国内約160ヵ所の上下水道施設やし尿処理場で運転管理やメンテナンスを受託しております。このたび、千葉県内の下水道関連施設や水処理施設で維持管理業務を展開する東日本エンジニアリング(株)を子会社化することとしました。この買収により運転管理事業のさらなる拡大およびサービスの充実を図り、事業収益基盤を強化していきます。

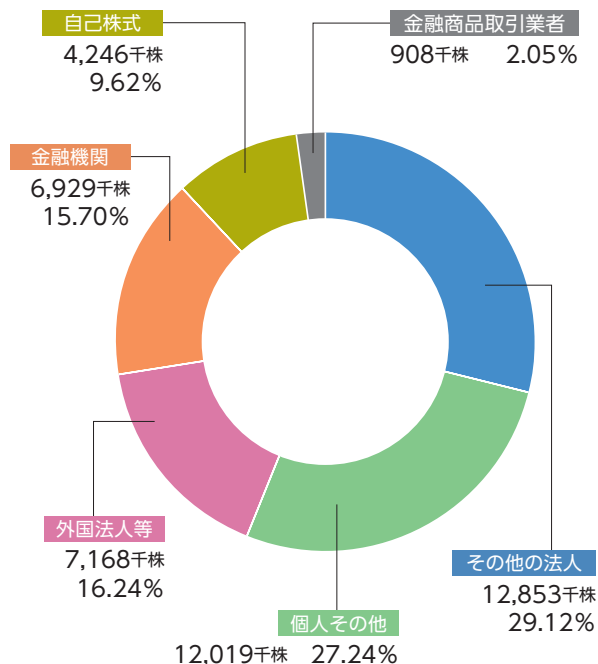
また、月島JFEアクアソリューション(株)は、JFEエンジニアリング(株)の水道用鋼管事業の統合に向けた協議を開始しました。近年、水道管の老朽化が進んでおり、全国の2割以上が法定耐用年数(40年)を超過し対応が急務となっております。JFEエンジニアリング(株)の水道用鋼管事業は、生産性の高い鋼管製造用ラインを有しており、長年に渡り高性能な水道用鋼管を国内市場に供給しております。月島JFEアクアソリューション(株)は、水道用鋼管事業の統合により、水道管路から浄水施設の設計・建設、運転管理までワンストップでの提供を目指しており、2026年4月下旬に最終契約を締結し10月より事業を開始することを想定しております。

月島JFEアクアソリューション(株)は、今後も同業他社と統合やアライアンスを通じた事業規模の拡大を推進し、国内上下水道分野における強固な地位を確立し、リーディングカンパニーとなることを目指してまいります。

株式の状況および株主優待制度

2025年9月30日現在

所有者別株式分布状況



株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式 4,246,358株を含む)	44,125,800株
株主数	10,031名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,552	8.90
月島ホールディングス従業員持株会	1,989	4.98
株式会社日本製鋼所	1,949	4.88
東京センチュリー株式会社	1,757	4.40
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,251	3.13
月島ホールディングス取引先持株会	1,195	2.99
GOVERNMENT OF NORWAY	1,121	2.81
株式会社三菱UFJ銀行	944	2.36
東洋電機製造株式会社	880	2.20
応用地質株式会社	872	2.18

(注) 1: 当社の自己株式4,246,358株は、上記の表には含めておりません。
2: 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主優待制度のご案内

**長期継続保有していただいている株主様に対して、
長年のご愛顧への謝意として、長期保有特典を追加しました。**

**1,000株以上ご所有のすべての株主様に新潟県魚沼産の
コシヒカリ新米4kgを年1回進呈しております。**

(注) 1. 毎年3月末日の株主名簿において、1,000株以上ご所有の株主様に対し、10月中旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。

2. 1.の株主様を除き、4月以降に当社株式を新規もしくは追加でご取得され、9月末日の株主名簿において合計して1,000株以上の当社株式をご所有になられた株主様に対し、11月初旬に新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)4kgをご送付いたします。

長期継続保有の株主様

**毎年3月末日の株主名簿において、3年以上継続して1,000株以上
ご所有の株主様(※)に対し、新米(新潟県魚沼産コシヒカリ)2kgを
追加いたします。**

※「3年以上継続して1,000株以上ご所有の株主様」とは、3月末日の株主名簿において、同一株主番号で3年以上継続して記録されている株主様(同一の株主番号で1,000株以上を、9月末日、3月末日の株主名簿に7回以上継続して記録されている株主様)といたします。



株主様が複数の証券会社等で弊社株式を保有している場合、証券会社等にお届けしている株主様の情報が相違していると株主優待品がお渡しできない可能性があります。裏表紙のご案内をご覧ください。

財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

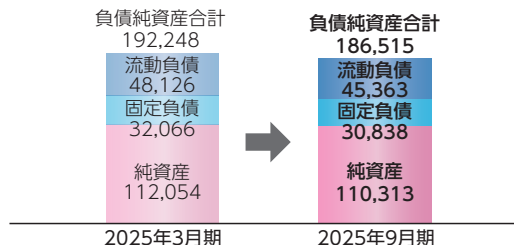
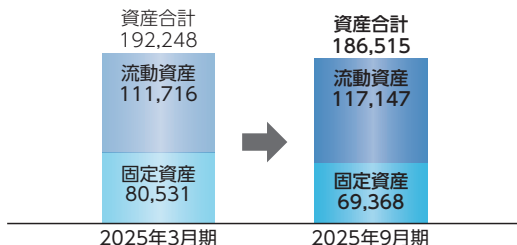
科 目	前期末 (2025年3月31日現在)	当中間期末 (2025年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	111,716	117,147
固定資産	80,531	69,368
有形固定資産	44,526	33,283
無形固定資産	6,409	5,991
投資その他の資産	29,596	30,094
資産合計	192,248	186,515
負債の部		
流動負債	48,126	45,363
固定負債	32,066	30,838
負債合計	80,193	76,202
純資産の部		
株主資本	82,101	80,740
資本金	6,646	6,646
資本剰余金	6,055	6,104
利益剰余金	70,445	79,892
自己株式	△1,047	△11,903
その他の包括利益累計額	10,960	12,422
非支配株主持分	18,993	17,150
純資産合計	112,054	110,313
負債純資産合計	192,248	186,515

連結損益計算書(要旨)

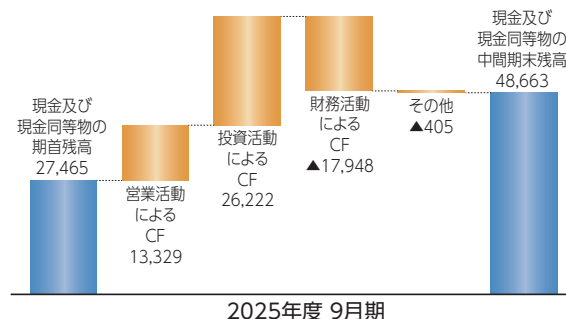
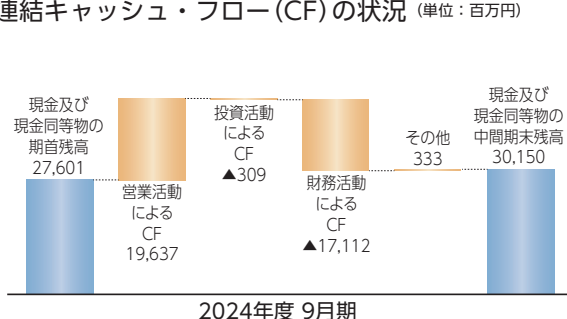
(単位：百万円)

科 目	前中間期 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日	当中間期 自 2025年4月1日 至 2025年9月30日
売上高	53,269	56,639
売上原価	42,601	45,063
売上総利益	10,668	11,576
販売費及び一般管理費	9,561	9,929
営業利益	1,106	1,647
営業外収益	960	1,023
営業外費用	137	273
経常利益	1,928	2,397
特別利益	8	15,088
特別損失	1	219
税金等調整前中間純利益	1,935	17,266
法人税等	698	5,473
中間純利益	1,237	11,792
非支配株主に帰属する中間純利益	218	8
親会社株主に帰属する中間純利益	1,018	11,783

資産、負債および純資産の状況 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー(CF)の状況 (単位：百万円)



会社概要

本 社	東京都中央区晴海三丁目5番1号
創 業	明治38年(1905年)8月
資本金	6,646,801,824円
従業員数	連結 3,575名 (2025年9月30日現在)

役 員

代表取締役社長	川崎 淳
代表取締役副社長	高野 亨
取締役(月島機械(株)代表取締役社長)	福沢 義之
取締役(月島JFEアクアソリューション(株)代表取締役社長)	鷹取 啓太
取締役(社外)	増田 暢也
取締役(社外)	志村 直子
取締役(社外)	田中 達也
取締役(社外)	和田 篤也
常勤監査役	吉川 孝
常勤監査役(社外)	吉加 訓
監査役(社外)	北方 宏樹

統合報告書2025を発行しました

本統合報告書は株主・投資家の皆様をはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまに対し、当社についてより深くご理解いただくことを目的として発行する報告書です。当社ホームページ上で公開しておりますので、ぜひご覧ください。



Top > IR 情報 > IR 資料 > 統合報告書

https://www.tsk-g.co.jp/ir/file/integrated_report/

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00～17:00)
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告による (ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします)
公告掲載URL	https://www.tsk-g.co.jp/
証券コード	6332

■お知らせ■

1.ご注意

- (1)株主様の住所変更、単元未満株式の買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続き(買取請求等)につきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認資料としてご利用いただけます。
なお、配当金を証券口座でお受取り(株式数比例配分方式)の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。

複数の証券口座等で弊社株式を保有されている株主様はご注意ください!!

証券保管振替機構(「ほふり」)は、**株主様が複数の株式保有口座をお持ちの場合**、証券会社等にお届けされた氏名・住所等の情報をもとに、同一人物かどうかをシステムで判定し、名寄せを行っています。

ほふりは、名寄せにより、株主様が複数の証券会社等にお届けになった情報を、**1人の株主の情報としてまとめて管理**しています。

現在、ほふりでは、さらなる名寄せ精度向上に向け、マイナンバーや**生年月日**、**カナ氏名の活用を推進**しています。

口座情報に正確な情報が記録されていない場合、名寄せが解除され、「議決権の行使」や「株主優待のお受け取り」に影響が生じるおそれがありますので、あらためてご自身の株式保有口座の情報が最新のものがご確認ください。

名寄せに利用される主な情報

変更前

住所・氏名



変更後

マイナンバー
住所・氏名・カナ氏名・生年月日

お届け情報が最新のものかご確認ください

お届け情報のご確認・更新の方法について

- ・証券会社で株式をお持ちの方…お取引の証券会社に確認ください
- ・特別口座で株式をお持ちの方…三菱UFJ信託のHPをご参照ください
(証券会社に預けていない株式をお持ちの方)

三菱UFJ信託銀行のHP

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/nayose.html>



月島ホールディングス株式会社

東京都中央区晴海三丁目5番1号
TEL: 03-5560-6511 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

